

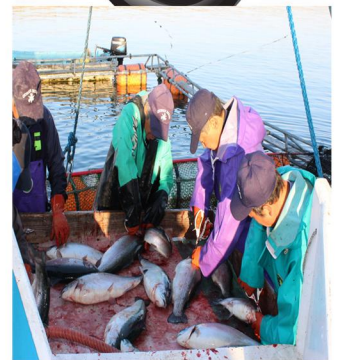


## 初水揚げは順調！ 二つの海で海面養殖のトラウトサーモン 初水揚げ

落部漁協青年部とひやま漁協熊石支所が、昨年12月から東野・熊石漁港で続けてきたサーモン(ニジマス)の初水揚げが行われました。

両漁協ともに、青森県から幼魚を購入し、港内に設置した10メートル四方のいけすで、試験養殖を始め、6カ月間で約3kgまで成長させる計画のなか、東野漁協では、最大4.1kg、平均2.76kg、ひやま漁協では、最大5.5kg、平均3.5kgが水揚げされ、順調な成育が確認されました。道内初となる海面養殖の事業化を目指し、今後も試験養殖を続ける予定です。

なお、今回水揚げしたサーモンは、「北海道二海サーモン」としてふるさと納税の返礼品として活用される予定です。



(熊石漁港での水揚げの様子)

## 生産者や消費者を元気に！ 地元産牛乳(町内産品) 消費拡大支援

地元産牛乳(八雲町特選牛乳)の消費支援販売会が5月27日～29日の3日間、町内産業界で構成されている八雲町産業連携促進協議会の主催により、開催されました。

新型コロナウイルス感染症により売り上げが落ち込んでいる牛乳を市場価格の4～5割の価格にし、販売を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、電話による事前予約を実施し、受取当日はマスク着用や混雑を避けるよう取り組みを行い、3日間で1,740セット(3,480本)の購入がありました。



## 八雲町を応援！ 株式会社プロテックから 企業版ふるさと納税による 寄附がありました

6月9日、八雲町役場で寄附金贈呈式が行われました。

株式会社プロテック(本社 北斗市)はこれまで八雲町内での工事を手掛けてきており、八雲町の産業活性化に役立ててほしいという思いから、この度の寄附に至りました。

1,000万円の寄附金は、今後、産業・地域振興に向けた事業に活用予定です。



## 町内を花で彩ろう！ 熊石ヤングサークルが花の苗を斡旋

熊石地域の花の苗の斡旋については、昨年まで「八雲町花いっぱい運動推進委員会」が実施しておりましたが、今年は「熊石ヤングサークル」が新たな取り組みで熊石地域を明るくする運動として6月1日に実施しました。

この日は、天気も良く花の苗を心待ちにしていた約30名が注文していた苗を買いに訪れ、干場敬亮会長は「地域の皆さんに喜んでもらえて良かった。これからも地域のための活動を続けていきたい」と話していました。

